

「国際日系デー」オンラインイベントへの山田大使ビデオメッセージ
(2020年6月20日)

皆さん、こんばんは。駐ブラジル日本国大使の山田彰です。

文協及びブラジル日本青年会議所の関係者の皆さん、そして本日ご覧の全ての皆さん、「国際日系デー」を記念して本オンラインイベントが開催されることを、心からお祝い申し上げます。現在、皆さんに直接お会いするのは難しいですが、こうしてオンラインで皆さんとお話できることを嬉しく思っています。

今日は、日系アイデンティティを追求する「ジェネレーション・プロジェクト」に関する発表が行われ、また、日系社会に親しみを持つ非日系人の方々も参加されると承知しています。そのテーマである「日系人としての価値観」については、私も強い関心を持っています。若手日系人の方々のイニシアティブで、新たな取組が見られることを歓迎し、心強く感じています。

現在国際社会は、新型コロナウイルスによってこれまで経験したことのない困難に直面しています。そんな時こそ、皆で前を向いて、支え合って頑張っていきましょう。サンパウロでは、様々な日系団体が協力して、サンパウロ市郊外の貧困層集住地区に食事を配布するプロジェクト「Água no Feijão」が展開されていると聞いております。こうした取組に心から敬意を表します。

日系社会の皆様は、ブラジル社会の信頼を勝ち得て、ブラジルの発展に大きく貢献してきました。そして、遠く離れた日本とブラジルの間をつなぎ、その関係をぐっと近づける役割も果たしてきました。駐ブラジル日本国大使として、日ブラジル関係の一層の発展に向けて、日系社会の皆様の活動に対し、引き続きできる限りの協力をしていきたいと思っております。御清聴ありがとうございました。

(了)